

Green
Tea

Incense
Made in kyoto



いと
をかし
香
kou



田坂広志氏の著作によりますと、ヘーゲルの弁証法では事物は直線的に発展するのではなく、らせん状に発展するとのこと。

上から観ると同心円状を回っているようですが横から見ると 階段を登るように上がっていきます。

要約しますと古き懐かしいものが消えたようで、いつしか 便利になって出現してくるというもの。

お香という古き文化が物流や通信が発達した今、京から地方へ流れていくのです。

その地方にちなんだお香文化を創り出してみたいかがですか？

ここにご紹介するのは、京都生まれ高級抹茶の本場・宇治在住の一主婦の方が生み出した 宇治抹茶をふんだんに使った
ぜいたくなお香「いとをかし香」です。(抹茶のお香は極めてめずらしい)

通常はお香を焚いて香りを楽しみますが、「いとをかし香」は温めて香りを出すお香「印香」と呼ばれるお香の一種です。

煙が苦手な方も楽しむことができます。

明確な香水のような匂いではなく、ほのかなしっとりとした日本の文化を思い出させます。

また、お香はお干菓子を作る木型で形を整え、店主がひとつづつ手作りしております。

木型を使用することで、繊細な線が描かれます。お香つくりの体験教室も行われており、観光客やご家族の良き思い出にもなっています。

詳しくは <http://incensekitchen.com> をご覧ください。

長崎では長崎のお香文化を創り出してみたいかがでしょうか？

たとえばピワ茶を利用したお香で、木型は教会群や軍艦島を取入れてはいたかがでしょうか？

ご興味がある方は下記へご連絡ください

お問合せ

～小規模企業の営業支援を行う～

ミゲル商事 担当：菅原

住所： 長崎県諫早市多良見町元釜 559-5

電話：080-1531-1936

<https://migerushoji.com>

Email: info@migerushoji.com